





治験にまつわる相談例

詳しい説明もなく治験に同意すると決めつけられて

72歳の夫が3年前に肝硬変と診断されました。その後、腹水がたまったり、食道静脈瘤の手術を2回受けるなど、入退院を繰り返しています。

今回も腹水がたまって入院したのですが、40歳ぐらいの主治医の態度が悪くて困っているのです。足が腫れていると伝えると「年をとっているんだから当たり前」の一言で済みます。病室で説明をしても、PHSが鳴るとそのまま中断して出て行き、戻ってこないなんてことは、日常茶飯事です。

先日、「人工のアルブミンを使う治験がおこなわれているので、やりたいんだけど」と言われました。すでに使うことを決めているかのような雰囲気だったので、「きちんと詳しい説明を受けてから決めたい」と言ったら、「このままだと1年もたないですよ。治療しないのに、入院していても意味がない」と言われてしまいました。

翌日、突然、治験担当者という人が病室にやってきて、人工アルブミンを使った治療の進め方を説明し始めました。私は、「まだ治験を受けると同意したわけではないので、あなたの説明をお聞きしてから考えたいのですが」というと、治験担当者は戸惑ったような表情で口ごもりました。どうやら、ドクターからはすでに治験を受ける患者だと聞かされていたようです。だから、当然同意しているという雰囲気、気分を害されたようでした。

でも、治験というのは、患者の自由な意志で選べるものではないのでしょうか。それに、まず主治医から詳しい説明があるべきだと思います。このままでは安心して最期を迎えられないので、主治医をかえたいのですが、可能でしょうか。

「再発したら死ぬ」と脅して治験を勧める主治医

私(58歳)は乳がんで手術を受けました。術後の詳しい病理検査で、リンパ節に転移があるとわかりました。退院して初めての外来受診のとき、主治医から抗がん剤治療を勧められました。私は10年前に夫を肝臓がんで亡くしていて、そのとき抗がん剤治療を受けて苦しんでいた姿が目に焼きついていて、どうしても抗がん剤治療は受けたくありません。

そこで、主治医に抗がん剤治療は拒否したいと申し出ました。すると主治医は、「いま乳がん治療の最前線は、治験でおこなわれている化学療法なんです。あなたの場合も、治験でおこなっている抗がん剤の組み合わせと量が最適だと専門医である私が考えて、このようにお勧めしているのです。乳がんは再発したら死ぬんですよ。再発を防ぐには、化学療法しかありません」と切り捨てるように言われました。

たとえ再発の危険性は高くなっても、私は抗がん剤治療を受けるつもりはありません。しかし、「再発したら死ぬ」なんて脅しをかけて自分が勧める治療を受けさせようとする主治医に不信感でいっぱい、とてもじっくりと相談しようという気持ちになれないのです。